

# 2014 年度事業計画

自 2014年4月 1日  
至 2015年3月31日

特定非営利活動法人エフアジヤパン

東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

## 2014 年度海外事業計画

### 1. ベトナム

#### 児童ソーシャルワークセンター支援

ハイフォン市児童ソーシャルワークセンターの活動を支援。犯罪を犯した青少年達が生活しながら勉強するニンビン第二教養学校や、地域の支援を必要とする子ども達へのカウンセリング・文房具の寄贈、子どもの権利啓発活動の実施などを支援。

#### アジア子どもの家奨学金基金

栃木県本部支援の奨学金基金事業で、困難な状況にある子ども達 60 名に 1 人当たり 80 万ドン（約 4,000 円）の奨学金と 20 万ドン（約 1,000 円）のギフトを支給。

#### 障がい児支援

連合愛のカンパによる支援で、ハイフォン市郊外の 3 つの障がい児教室で文化活動や保護者へのリハビリ研修、障がい児啓発活動や担当教師への給与補填などを支援。

書き損じ葉書による支援で、ハイフォン市の障がい児施設に機材を寄贈。

#### その他

布袋の売り上げ予定枚数：6,663 枚 布袋の売り上げ予定総額：2,998,350 円

ベトナム人調整員との契約は、少なくとも 6 カ月は継続。

### 2. ラオス

#### ヴィエンチャン市立図書館支援

東海地連の支援により、引き続き図書館の運営費を支援。

#### ラオス図書館協会支援

ラオス図書館協会の運営能力強化支援を継続。ラオス国立大学図書館学コースへの参考書の購入、地方での図書館調査、国際会議参加の旅費、スタッフの人件費の補填などを支援。

#### コミュニティ図書館・図書室への支援

静岡県中東遠総合医療センター職員労働組合の支援で、静岡県本部の支援により建設されたノンセンチャン村コミュニティ図書館に、本や事務用品を購入・寄贈、図書館開館のための担当職員超過勤務手当の支給。

新潟県本部の支援により建設されたタトーン村コミュニティ図書館の継続支援で、本や事務用品を購入・寄贈、図書館開館のための担当職員超過勤務手当の支給、隣村での読書推進活動を実施。

個人の方の支援により設置された各コミュニティ図書室をモニタリング。

書き損じ葉書による支援で、個人の方の支援により設置された各コミュニティ図書室に本を寄贈。

### 地方子ども文化センター（CCC）支援

日本政府外務省 NGO 連携無償資金で設立したセコン県 CCC に、支援終了後 4 年間に破損・紛失した活動用具を寄贈し、新規職員とジュニアリーダーの研修を実施。

### 小学校支援

東海地連の支援により、サバナケット県郊外の小学校の建物を新築（検討中）。

## **3. カンボジア**

### 子どもの家（国立幼稚園教員養成学校）への奨学金

2014 年度の奨学金事業では、10 月から訓練生 25 名に月 25 ドルを 10 カ月間支給する。退職された保育士で元自治労組合員の荒川智子氏のボランティア活動を資金援助。

### 寺子屋教室運営支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

2007 年から支援してきたプノンペン市内 2 カ所の寺子屋教室（うち 1 教室は 2013 年度に閉鎖）の修了者を中心にインタビューを行い、成果をモニタリングする。結果次第で、もう 1 教室も今年の新学期から閉鎖。10 月からは、プノンペン市内のスラム再定住地と隣県カンダールの村で、2 教室のみの運営支援に縮小。

### 国境地帯の寺子屋教室支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

兵庫県本部の 60 周年記念事業で、プリアビビア県のタイとの国境地帯にある 13 カ所の寺子屋教室登録児童に学用品を支給。

各教室の基礎調査を行い、日本政府への資金協力申請を準備。

### SCADP 児童保護施設支援

熊本県本部の 60 周年記念事業で、プノンペンの保護児童の生活改善を実施。

奈良県本部の 60 周年記念事業で、プリアビビアの保護児童の生活改善を実施。

### SCADP 支援

SCADP の保護施設出身の大学生 2 名への奨学金を継続。

## **4. タイ**

ミャンマー労働組合連盟（FTUM）が運営するミャンマーからの移住労働者子弟の教育施設パラミ・ラーニングセンターと大阪府本部との交流を準備。

以上

# 2014 年度国内事業計画

## 1. 組織拡大

- ・自治労県本部や単組への働きかけを継続的に行ない、会員・エファパートナーの加入拡大につとめる。新規加入促進だけでなく、継続のためのフォローアップにも力を入れる。  
また、労働者福祉協議会や企業など自治労以外の組織への働きかけも行なっていく。

## 2. 書き損じハガキ収集

- ・前年度に引き続き、書き損じハガキの収集活動を積極的に展開し、ポスターの配布等を通して自治労県本部・単組へ協力を呼びかける。
- ・協力いただける県本部・単組にハガキ回収箱を配布し、設置・回収をお願いする。

## 3. 集会・イベント

- ・自治労中央委員会(1月)、自治労定期大会(8月)にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やグッズ販売等を行なう。
- ・組合、他団体主催の集会・イベントへの展示パネルの貸出しを行なう。
- ・エファジャパン設立10周年記念事業として、会員・一般の方を対象としたイベントを秋に東京都内で実施する。

## 4. 学習会

- ・主に自治労組合員を対象に、子どもの権利に関連した学習会を実施する。

## 5. スタディツアー

- ・自治労本部を通じて呼びかけを行ない、組合員を中心としたスタディツアーをベトナムで実施する。特に福祉関係者の参加を促進する。  
今年度は組合員以外にエファ会員等にも参加を呼びかける予定。

## 6. ネットワーキング

- ・エファジャパンの理念に合致する社会的ネットワークに参加し、他 NGO 団体、労組等との連携強化をはかる。
  - ・国際協力 NGO センター (JANIC) (正会員・継続)
  - ・児童労働ネットワーク (CL-Net) (団体正会員・継続)
  - ・子どもすこやかサポートネット (団体正会員・継続)
  - ・NGO-労働組合国際協働フォーラム (会員団体・継続)

## 7. 認定NPO法人取得準備

- ・寄付を受けやすい環境を整えるため、引き続き、認定NPO法人取得に向けた準備を進める。(2015年度申請予定)

以上

## 2014 年度広報事業・その他計画

### 1. 広報活動

#### (1) 2013 年度から継続（実施内容を変更しないもの）

- ・年次報告書の作成（2013 年度年次報告書／年 1 回）
- ・広報誌『えんばわ』の発行（年 4 回：33～36 号）
  - ※『えんばわ』36 号は 10 周年記念号
  - ※37 号（次年度）からデザイン改訂
- ・メールマガジンエファ通信の発行（月 1 回～）
- ・自治労プレスリリース（月 1 回程度）
- ・エファジャパンパンフレット印刷（改訂予定）
- ・エファジャパンHP、Facebook ページ等管理
- ・書き損じハガキ募集ポスターの印刷・配布
- ・古本リサイクル募金広報
- ・展示パネル更新（海外事業の更新・変更による）
- ・自治労通信裏面広告
- ・イーココロ他インターネットサイト等更新

#### (2) 2014 年度終了・減少するもの

なし

#### (3) 2014 年度新規

- ・団体紹介 DVD を各県本部へ贈呈（10 周年記念）
- ・10 周年記念イベント広報

### 2. ボランティア

- ・エファボラデー（月 1 回）
- ・ボランティア交流会（イベント後、その他）
- ・デザインボランティア（自治労裏面広告、ポスター、等）

### 3. 外部企業等との提携による募金・寄付活動

- ・ハイム化粧品 スマイルご縁（5 円）活動
- ・インターネット募金（Yahoo!ネット募金、イーココロ、gooddo）

### 4. 開発教育

- ・開発教育プログラム制作

以上